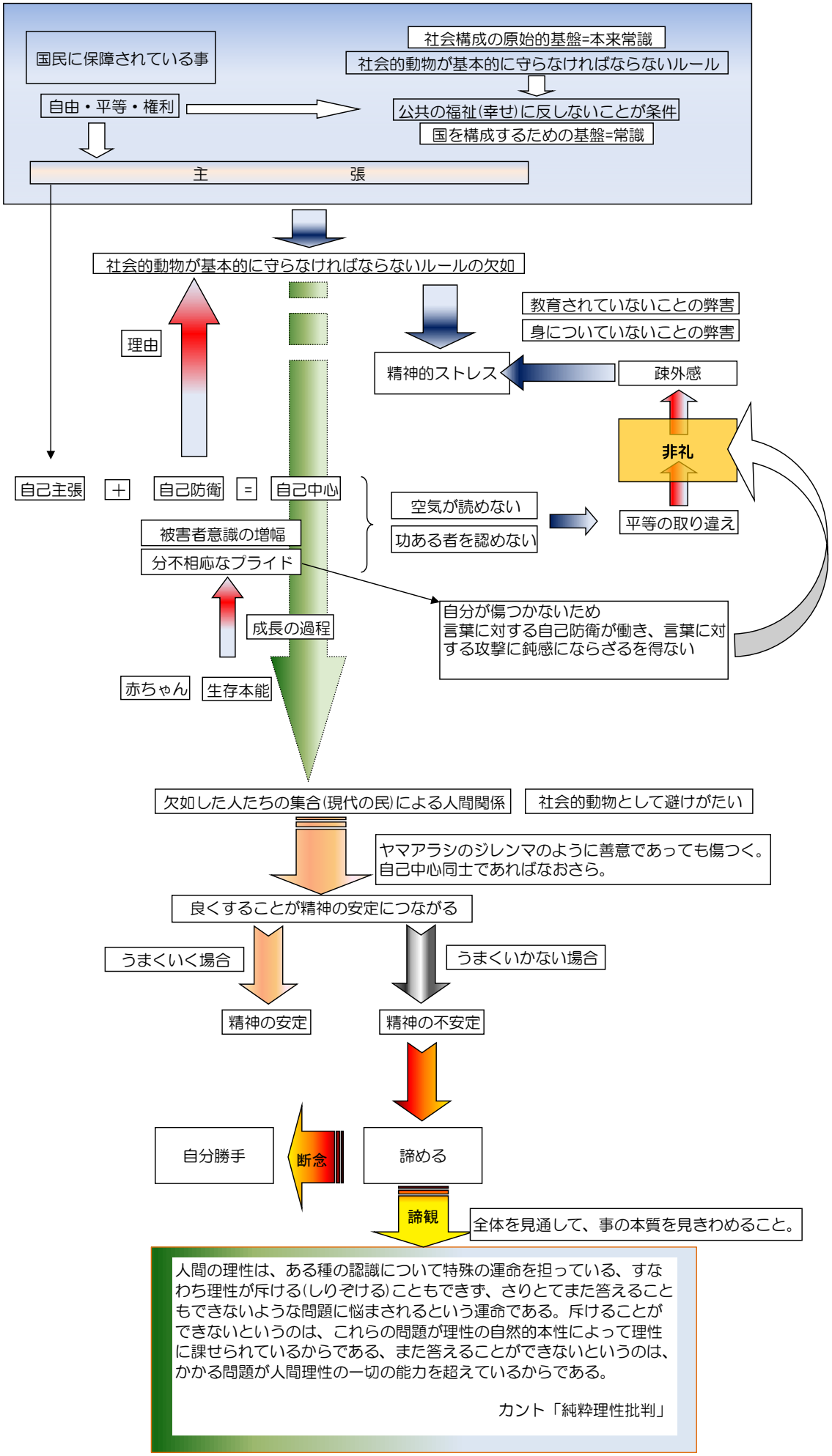
**【社会的動物と精神の関係図】**




人間の理性は、ある種の認識について特殊の運命を担っている、すなわち理性が斥ける(しりぞける)こともできず、さりとてまた答えることもできないような問題に悩まされるという運命である。斥けることができないというのは、これらの問題が理性の自然的本性によって理性に課せられているからである、また答えることができないというのは、かかる問題が人間理性の一切の能力を超えているからである。

カント「純粋理性批判」